

平成29年度第5回袖ヶ浦市公民館運営審議会

1 開催日時 平成30年2月27日(火) 午後3時開会

2 開催場所 平川公民館 2階 視聴覚室

3 出席委員

委員長	稲毛 博夫	委員	齋藤 隆彦
副委員長	長崎 容子	委員	関 とし江
副委員長	大野 俊江	委員	根里 恵美子
委員	小川 幸男	委員	石井 智子
委員	田中 輝博	委員	片寄 礼子
委員	尾高 幹男		

(欠席委員)

委員	早川 敦
----	------

4 出席職員

教育部長	石井 俊一	根形公民館副館長	花澤 吉敬
教育部参事	小阪潤一郎	平岡公民館館長	在原 徹
市民会館館長	溝口 輝	平岡公民館副館長	多田 智子
市民会館副参事	濱崎 雅仁	平川公民館館長	小堀 正雄
長浦公民館館長	佐藤 紀文	平川公民館副館長	佐久間ゆかり
長浦公民館副館長	時松 君子	平川公民館副主幹	君塚 和枝
根形公民館館長	今井 裕文		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	1人

6 議 題

- (1) 平成29年度市民会館・公民館事業の成果と課題について
- (2) 平成30年度市民会館・公民館の経営方針(案)について

7 報 告

- (1) 君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会・君津地方公民館連絡協

議会合同研修会について

- (2) 君津地方社会教育委員連絡協議会・君津地方公民館運営審議会委員
連絡協議会研修会について
- (3) その他

8 議 事

稲毛委員長

議題1、平成29年度市民会館・公民館事業の成果と課題について、事務局より説明をお願いします。

濱崎市民会館副参事

市民会館の説明の前に、今回成果と課題について説明する事業については、市民会館・公民館主催の学級講座についてであります。現時点で終了していない事業もございますので、参加者数などの実施結果については、来年度の1回目の審議会で報告いたします。

また、市民会館まつり・公民館まつりについては、前回の審議会で審議していますので、今回の資料からは割愛しています。このことから、平川公民館・長浦公民館については、各種行事推進事業の資料のシートはございません。

(資料に基づき、濱崎市民会館副参事、佐久間平川公民館副館長、佐藤長浦公民館館長、花澤根形公民館副館長、多田平岡公民館副館長が説明。)

稲毛委員長

平成29年度市民会館・公民館事業の成果と課題について、委員の皆様のご意見等があればお受けします。

長崎副委員長

公民館の成果と課題というのはわかりましたが、先ほど事務局から次回に事業報告を出すという話がありましたが、それがあったほうが、より私達に成果と課題が見えてきます。これだけ説明があっても、なかなかこの資料だけでは内容が把握できないため、事業実施結果の実績を併せて報告をしていただきたいと思います。

それから、公民館地域連携推進事業ですが、長浦公民館の炊き出し体験に参加しましたが、ちょっと物足りなかったです。1回きりで終わって仲間同士のコミュニケーションがとれないし、内容も炊き出しということではいろいろとやってもらいましたが、1回きりで物足りない、中途半端な気持ちで終わった思いがあります。

また、各公民館事業で人数の減少が表れていますが、それをどのように対策として考えているか伺います。

また、根形公民館の乳幼児家庭教育学級について、講師の依頼や内容をどのように決めているのか、資料だけでは全然伝わらずよく検討できないので、この計画は、例えば保育所の退職者や元所長などを呼んでの一緒に計画を立てたのか、社会教育推進員や担当職員で計画を立てているのか、併せて目的もお伺いします。

濱崎市民会館副参事

まず、講座の参加者の減少についてですが、幼児家庭教育学級については増えていて、地域家庭教育学級、中学校家庭教育学級は参加者が少なくなっています。この取り組みとしては、PTA との相談、早い案内を出すなどの対策を考えていますが、なかなかできていない現状はあります。青少年教育推進事業、高齢者いきがい促進事業については増えてきています。成人教育推進事業の女性セミナーについては大きな変化はなく、舞台コーディネーター養成講座については、専門的な内容なので参加者は集まりにくいですが、今年度は袖ヶ浦高校演劇部に働きかけて実施しました。一概に参加者が減少している訳ではないというのが昭和地区の状況です。

片寄委員

資料を事前にいただいていますので、読めばわかる内容もあります。省略できるものはして、本当に話し合うべきことがあると思いますので、次回は一考していただきたいと思います。

また、先ほど事務局から資料をいただけなかった理由を伺いましたが、事業の実施結果があれば、説明の中のどのくらい増えたのか減ったのかなど、質問しなくてもわかる内容もあります。私達は資料しかありませんので、ポイントを押さえた会議のための資料作りをしていただきたいと思います。

佐藤長浦公民館館長

長崎副委員長には、せっかく防災講座に参加していただきながら物足りなかったというご指摘を受け、お詫びしたいと思います。しかし、第1回目ということで手探りのなか始まりました。今後、段階的に実施していき、最終的には1泊するなど、避難所として運営できるようにしていきたいと考えています。意識の高い方には、内容がちょっと、という意見があると思います。段階的に整備していくということで、またお知恵をいただきたいと思います。

また、講座の人集めについては保護者の声を聴くしかなく、長浦公民館では3月2日にPTA 役員との話し合いを企画しています。その中で、両者にとってどうすれば有益な事業ができるか、オープンな話し合いを予定しています。我々のほうに不備な点があれば、丁寧に補いながら考えていくしかないと思っています。

佐久間平川公民館副館長

講座生が少ない対策としては、先ほど園芸講座でも申し上げましたが、各講座生にアンケートを取るようになっています。実際、アンケートを取ると、希望の曜日やニーズの違いもあるので、参考にしながらより参加しやすい講座にしたいと考えています。

また、社会教育推進員や関係団体とも連携して、じっくり考えながら来年度の事業について組み立てていきたいと考えています。

在原平岡公民館館長

平岡公民館でも講座生集めに苦勞しています。やってみて実感するのは、その時たためになる内容で来るということです。こちらのお仕着せでなく、何に興味を持っているのか、興味関心の高いものをどう学習していくのかを捉えていくべきだと思っています。そして、人々の興味関心が多様化しています。

また、「男性のための料理教室」を実施した時、参加者が最初はギクシャクしていたが、調理をしていくうちに和やかになりました。そういう仕組み作りをしていく、話をすることから活動に変えていくことをしたいと思っています。

周知の方法ですが、ホームページやちらしなどの他に、登録団体の協力や口コミなどの活動をしていけば少しは持ち直すかと考えています。

子どもやお母さん達も日頃忙しく、いつ公民館に来て勉強するのか、その気持ちを上げるために、やはり興味関心のある内容、それしかない気がします。

花澤根形公民館副館長

他館から説明があったように、ちらし、ホームページ等でPRしているところですが、なかなか集まらないところもあります。先ほども申し上げたとおり、成人絵画教室のように定員を超えて申し込みがあった講座もありますし、地域の皆さんの力を借りてやっているニコニコ教室も多くの皆さんに参加いただいています。さらに工夫して事業を広げていくことで、さらに多くの皆さんの参加を得られるのではと思います。

その中で、先ほどご質問のあった乳幼児家庭教育学級につきましては、昨年までは幼児家庭教育学級として実施していましたが、乳幼児をもつ保護者の学習機会も必要と社会教育推進員と話し合い、今年度から対象を0歳児からに広げて始めました。ただ、小さな子を見る手がないということもわかってきて、どうしようかという課題もあります。

また、ねこまるのような事業でとりあえず公民館に来てもらい、その中で展示などを見て、公民館を知ってもらおうということも考えています。

石井委員

5点ほどお伺いします。

一つは、根形公民館のねこまろのような子ども達と一緒にダイナミックな活動をしていく事業を他館では実施していこうという準備や計画があるか伺います。

二点目が、同じく根形公民館の地域再発見講座でその地域の歴史などを地域の人が探したり、発見したりしています。それぞれの地域に歴史があり、それを掘り起こしていければよいと思いますが、他館で実施する計画があるのか伺います。

三点目に、事業の整理について、終了するものとか、開催の回数、曜日、ネーミングを検討するなど考えているのか伺います。

四点目として、博物館、図書館など他の施設との情報交換は、年に何回くらい会議を持っているのか伺います。

最後に、情報教育について、パソコン講座は、もう20年もやっているので基礎ができている人が多いと思うので、例えばSNS、フェイスブックやツイッター、インスタグラムやユーチューブ投稿、ブログ作成などを教えて、袖ヶ浦のアピールをしてもらったり、ニーズは他にもっとたくさんあると思います。

小阪教育部参事

社会教育関係施設の会議は、月1回、館長・副館長レベルで開催しており、家庭教育の場合は、福祉、健康推進の部門、図書館の部門で職員だけでなく、社会教育推進員とか、ボランティアの方と情報交換をしています。博物館の場合は、山野貝塚、埋蔵文化財の関係で博図公（博物館、図書館、公民館）で連携しています。今年度、きのこについての講座も博物館と市民会館の子どもチャレンジ教室が連携して実施しました。

石井委員

縦割り行政と言われるので、個々で同じようなことをして無駄がないようにと思います。

佐藤長浦公民館館長

ねこまろのような事業は、長浦公民館では考えていません。地域づくりということで、地域のために活動しようという人を掘り起こすのも必要ですが、地域性もあり根形公民館の模倣をしてもバラバラになってしまうというのが正直なところだと思います。60歳、65歳まで仕事をしている人が多いが、一緒に活動してくれる人を長浦地区でも地道に作り上げていきたいと考えています。

地域再発見講座についても、長浦地区では考えていませんが、ながうら雑学塾があり、その中で取り上げたり、地域の歴史について、長浦に限定せず近隣の地域再発見という形で学んでいます。

開催回数については、ご指摘の通り考えていきたいと思っています。先細りして

いる家庭教育学級では、回数、ネーミングについて、PTAを含めた子育てをする団体とオープンに話をしながら考えていきたいと思えます。

濱崎市民会館副参事

ねこまるのような事業については、市民会館では、働き盛りの男性をどう取り込んでいくのかということで、そうした男性を対象とした「さわやかセミナー」を実施しています。その時期によって地区ごとにどうした講座が必要なのかを考えていきたいと思っています。

地域の歴史を知る講座については、以前女性セミナーで各地区のことをもっと知ろうという内容で実施しました。今年度は、青少年教育推進事業を坂戸の森をフィールドに実施したので、それぞれの講座で取り組めればと考えております。

事業の整理については、家庭教育学級を今後どうしていくのか、今年度根形公民館で乳幼児に対象を広げた成果を見ながら、特に、幼児家庭教育学級では今まで地域にこだわってきましたので、実施の形態、年齢、対象を担当者会議等で検討していければと考えております。

他の機関等との連携については、各館で公民館地域連携推進事業を行っており、役所内の関係機関と密接に結びつくよう、事業の中できっかけ作りを行い、最終的にはそういった組織を作っていきたいと考えています。

今後、総合計画の見直しの中で、全体的な見直しも、将来も考えながら柔軟にこれからの事業も検討していきたい、方向性としてはそういった形です。

多田平岡公民館副館長

平岡公民館では、地区住民会議で通学合宿を行っておりますので、その中でOBの協力を今後検討したいと考えています。

また、地域再発見講座については、公民館だよりの中で平岡地区の歴史を紹介しておりますので、その中で反応を見ながら今後実施していくか否かを検討していきたいと考えています。

ネーミングについては、今のところ考えていませんが、飛びつきやすいタイトルにできればと思います。

また、幼児家庭教育学級でご夫婦の参加もありますので、そういった方に他の方を紹介してもらうなど取り組んでいけたらと考えています。

大野副委員長

いろいろな公民館の高齢者お出かけ講座で、百歳体操に取り組んでいますが、百歳体操は高齢者支援課との連携とありますが、どちらが主体で開催しているのか伺います。

また、根形公民館では、小型バスで送迎しているということについてお聞き

したいです。

あと、ファミリー劇場を市民会館まつりと別に実施したのはすごくいいことだと思います。また別の実施を検討してほしいと思います。

濱崎市民会館副参事

百歳体操については、公民館の事業として取り組んでいるところがありますので、公民館が主体で、また、高齢者支援課も百歳体操を地域に広げていきたいという思いもありますので、公民館事業が主体の中で高齢者支援課の協力を仰ぎながら実施しているところです

花澤根形公民館副館長

小型バスの利用については、昨年度までは公用車で職員が送迎していましたが、人も足りず、事故があってもいけないので、専用ドライバーのいる市の小型バスを利用しました。小型バスによる送迎で、参加者を掘り起こすまでには至りませんでした。そうした参加者の掘り起こしを試行的に実施したということです。

大野副委員長

他の公民館でも高齢者を対象とした事業を実施する際に小型バスを利用することは可能でしょうか。

花澤根形公民館副館長

計画書を出し、条件を満たしていて、空きがあれば可能です。

大野副委員長

高齢者の足がないと問題になっているので、各公民館で利用できればよいと思います。

稲毛委員長

本来ならば皆さんからご意見を伺いたいところですが、時間の都合上、議題1はこれで終了します。

次に、議題2、平成30年市民会館・公民館の経営方針（案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料に基づき、溝口市民会館館長が説明。）

稲毛委員長

平成30年度市民会館・公民館の経営方針（案）について、委員の皆様のご意見等があればお受けします。

田中委員

29ページの②運営評価の取り組みについて、昨年も同じ計画が出ていますが、29年度の成果、結果はどうなっているのか伺います。

溝口市民会館館長

平成28年度の点検評価を、平成29年の7月に教育委員会の点検と評価という形で実施しています。教育ビジョンに基づいた形で、目標、取り組み内容、主な施策、評価、成果や課題、今後の対応、有識者からの意見をいただいていますので、これに基づき、今年も5～6月頃に作成し、教育委員会に諮ることを予定しています。

田中委員

今、話されたことを土台に次のステップに進むということですね。それを書いていただかないとわからないので、書いてもらえるとありがたいです。

昨年のもと比較すると、経営方針に「袖ヶ浦市みんなが輝く協働のまちづくり条例」に対応して地域コミュニティの活性化に資する施策を推進し、まちづくりを支援するとありますが、実際これがその後の重点施策にどのように反映されているのか、全館で取り組む形の事業を今後展開していくのか、新しい項目として出てきているので、お聞きしたいです。

溝口市民会館館長

「袖ヶ浦市みんなが輝く協働のまちづくり条例」につきましては、冒頭申し上げましたように、各館でそれぞれの取り組みが進んでいるということで、特に具体的なものについては内容の記載はしておりません。あくまでも包括的に地域コミュニティによるまちづくりの支援という表現をさせていただいております。まだ、条例の主管課であります市民活動推進課からの具体的なアプローチもありませんので、今のところでは記載が難しいと思います。これから準備を進めているところです。

田中委員

高齢者支援課のほうでも、包括支援事業でそういうことをベースにしてやっていけないといけないところがあるので、どの課も共通で取り組まないといけないと思うので、よろしくお願いします。

片寄委員

28ページの利用者の安全について、今年度は避難訓練を実施して利用者の安全に努めますということでしたが、避難訓練の実施結果と30年度の運営方針の中には避難訓練という言葉がないようですが、利用者の安全を図るという点についていかがお考えでしょうか。

花澤根形公民館副館長

根形公民館では、ねこまるの中でも子ども達を対象に避難訓練を実施したり、昨日は管理人だけになる土日を想定して避難訓練をやって、来館したサークルの方にも協力をいただいて実施して、その中からさらに現実的なものにしていくということで昨日終えたところです。

溝口市民会館館長

意図的に避難訓練をやらないという訳ではなく、文節の都合で省かせていただきました。30年度についても実施してまいります。

小川委員

26ページに、平岡公民館では昨年の反省を生かし、市内小学生を対象とした子ども教室を実施するとあります。市民会館や平川公民館もそれぞれ奈良輪小、平岡小の児童の参加が少なかったと課題があるが、どのように改善することを考えているのか、今まで通りやっていく考えなのか伺います。

小堀平川公民館館長

子ども教室、子どもクラブについては、平岡公民館と平川公民館でかなり重なる部分がありまして、かねてから合同開催も議論しています。平川公民館は、自然体験を中心に中川小と平岡小にも声をかけている訳ですが、それぞれの館の特徴を生かしながら引き続き案内し、内容の工夫改善を図っていくという状況です。内容によっては合同開催も今後検討していく考えです。

溝口市民会館館長

市民会館では、やはり奈良輪地区の参加が少ないということで、線路を挟んで地区が遠く、なかなか来にくい状況にはありますが、PRの方法をいろいろ考えながら実施していきたいと思っております。

大野副委員長

子ども達が土日に事業を実施しても来られないという話がありましたが、学校と密に連絡を取り合えば、子ども達が学校早帰りの日とか、運動会の振替日とかわかるので、そういう日にうまく事業を組み込めれば子どもを集められる

日もあると思います。土日は教室とか、いろいろ子どもも予定を持っているので、そういう日を使って子どもを掴む努力、日にち設定などご一考いただければと思います。

小堀平川公民館館長

開催日時であるとか、内容、周知とか、基本的には小学校や中学校や他団体との連携を十分図って設定していく必要はあると思います。ただ、振替日に実施するなどもう少し検討させていただきたいと思います。

稲毛委員長

ほかにご質問もないようですので、次に、報告1、君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会・君津地方公民館連絡協議会合同研修会について、及び、報告2、君津地方社会教育委員連絡協議会・君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会研修会について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき、濱崎市民会館副参事が説明。)

皆様からご感想いただければと思います。

稲毛委員長

それでは、皆様の中でご感想等、お話していただければと思います。

大野副委員長

君津地方公民館連絡協議会との合同研修会に参加して、講師が職員や公民館運営審議会委員に期待することは、自分の目を見て、参加して、公民館を感じてほしいという話が印象に残りました。また、地域の中で一人暮らしの方を取り残さないようにすることが必要で、公民館が活躍しなければいけない場があると感じました。

次に、社会教育委員連絡協議会との研修会では、地域の子どもは地域で育てる、学校の中で囲い込まないこと、また、下校時に雨が降ろうが防災訓練をしているということがいいことだと感じました。下校中の災害時に子どもがどこに逃げればいいのかという対策も大切であると感じました。

田中委員

君津地方公民館連絡協議会との合同研修会では、埼玉県富士見市の報告でしたが、市民が主体的に公民館の運営に関わっているという報告でした。講師に聞いたら、40年くらいかかってこうなっているそうです。袖ヶ浦市の場合も何十年もかかるんだなという気がしました。富士見市を調べてみたら、公民館

は土日祝日ともに9時から22時の開館になっています。休館日は毎月第3月曜と年末年始のみ。拓かれた公民館だなどと思いました。公民館の運営を市民がやっているからこういうことができると感じました。袖ヶ浦市もこのようになっていけばいいと感じました。

尾高委員

君津地方公民館連絡協議会などの合同研修会に参加して、公民館かできる歴史的背景を考えると、こんな活動でいいのかなというような場面もあるかもしれませんが、気にしないで実情に合ったことをしっかりやっていけばいいと思いました。

片寄委員

君津地方公民館連絡協議会との合同研修会に参加して、公民館の歴史というのは、終戦後すぐに公民館としてのビジョンができ、歴史の古さを改めてすごいと思いました。法律的にも位置づけされているものなので、これを引き継いでいかなければいけないと思いました。講師の言葉で、公民館運営審議会委員は、公民館の事業に実際に自ら参加して自ら見て下さいというところが印象に残りました。

齋藤委員

君津地方公民館連絡協議会との合同研修会に参加して、現状を伺った中で、教育委員会から首長部局への移管、指定管理、まちづくりセンターなど、このまま進んでいくと設立の趣旨から道が外れるのではという危惧を覚えました。そうさせないように、趣旨を忘れることなく活動していかなければいけないと感じました。

次に、社会教育委員連絡協議会との研修会に参加して、講師は、子どもたちとの環境学習から公民館との関わりが始まり、社会教育委員となつていろいろな団体との付き合いが始まり、うまく公民館を使われているという印象を受けました。

根里委員

社会教育委員連絡協議会との研修会に参加して、講師がパワフルで聴きごたえがありました。子ども達の居場所を作るための活動、自分の地域の良さを伝えていくために自分達も動いていく、地域を動かしていくことがすごいパワーだなど思いながら、そのパワーに敬服すると同時に感銘を受けました。地域で活動して人を巻き込んでいく魅力もその方にはあったのだと思いました。

稲毛委員長

報告3、その他についてありますか。

事務局

(成人式の報告について追加資料を配布し、濱崎市民会館副参事が説明。)

稲毛委員長

委員の皆様、意見等あればお願いします。

(意見等なし)

稲毛委員長

それでは、議題につきましては全て終わりました。

午後5時20分 閉会

平成29年度第5回公民館運営審議会

日時：平成30年2月27日（火）

午後3時開会

場所：平川公民館 2階 視聴覚室

次 第

1 開会のことば

2 委員長あいさつ

3 教育部長あいさつ

4 議題

(1) 平成29年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

(2) 平成30年度市民会館・公民館の経営方針（案）について

5 報告

(1) 君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会・君津地方公民館連絡協議会
合同研修会について

(2) 君津地方社会教育委員連絡協議会・君津地方公民館運営審議会委員連絡
協議会研修会について

(3) その他

6 閉会のことば

第 2 2 期袖ヶ浦市公民館運営審議会委員名簿

番号	氏名	選出区分	備考
1	おがわ ゆきお 小川 幸男	学校教育 校長会	2 期目
2	おだか みきお 尾高 幹男	社会教育 文化協会	1 期目
3	たなか てるひろ 田中 輝博	社会教育 子ども会育成会	1 期目
4	はやかわ あつし 早川 敦	社会教育 音楽協会	1 期目
5	いなげ ひろお 稲毛 博夫	社会教育 体育協会	委員長 6 期目
6	さいとう たかひこ 齋藤 隆彦	家庭教育 キッズパレット理事	1 期目
7	せき え 関 とし江	学識経験者 元公民館まつり実行委員	1 期目
8	ねざと え み こ 根里 恵美子	学識経験者 元社会教育推進員	1 期目
9	ながさき ようこ 長崎 容子	学識経験者 元社会教育推進員	副委員長 3 期目
10	いしい のりこ 石井 智子	学識経験者 元教育研究指導員	1 期目
11	おおの としえ 大野 俊江	学識経験者 元公民館職員	副委員長 3 期目
12	かたよせ れいこ 片寄 礼子	公募委員	1 期目

任 期 平成 2 8 年 7 月 1 日から平成 3 0 年 6 月 3 0 日

構成人数 男性委員 6 名 女性委員 6 名

議題（１）平成２９年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

① 平成２９年度市民会館事業の成果と課題

<p>（１）青少年教育推進事業</p>
<p>「子どもチャレンジ教室」「子ども映画会」</p>
<p>○主な学習内容</p> <p>燃料電池、坂戸神社の森でキノコ調査、工場見学、眼の健康の学習、キャベツ収穫体験、豆腐づくりとおからの利用、防災グッズづくり、映画鑑賞</p>
<p>○成果</p> <p>子どもチャレンジ教室では、社会教育推進員とともに魅力ある内容を企画し、社会教育推進員の努力により教室生が増加した。また、新しい内容を取り入れたことにより、昨年から継続して参加した教室生に対し、より多くの体験や興味を持たせることができた。</p> <p>子ども映画会では、市内の子どもたちに対し映画鑑賞をとおし、視聴覚教育と鑑賞マナーの向上を図ることができた。</p>
<p>○課題</p> <p>子どもチャレンジ教室では、新しい様々な内容を取り込み、開催主旨や教室生の状況を踏まえ開催したが、回を追うごとに出席率が低下した。特に奈良輪小学校の出席率が低いのが目立つ。児童数が少ないこと、また、市民会館からやや遠方にあることが原因の一つと思われるがどのように取り組んでいくか対策を講じ、実践していく必要がある。</p>

(2) 家庭教育総合推進事業

「幼児家庭教育学級」「地域家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」

「親業訓練入門講座」

○主な学習内容

幼児家庭教育学級：読み聞かせ、ハロウィーン衣装づくり、移動教室、茶話会ほか
地域家庭教育学級：米粉を使った料理実習、免疫力を高めるストレッチ、移動教室
中学校家庭教育学級：思春期の子どもの関わり方、移動教室ほか

○成果

幼児家庭教育学級は、参加者からの要望を踏まえた講座内容とするとともに、5館合同での読み聞かせに関する講座や講演会では、子育てに求められる知識や、情報の提供も併せて行うことができた。

地域家庭教育学級は、子育てに関する学習機会の提供と同じ世代の子どもを持つ保護者同士の仲間づくりを目的に、子育てや食育、創作活動など様々な内容の講座を開催した。企画・運営を公民館だけでなく各校PTAとも連携を図りながら実施した。

今年度の5館合同講演会は、臨床心理士を講師として、いじめに関する講座を実施し、大変好評であった。この講演を聞いてさらに学びを含めたいという相談があり、親業訓練入門講座へ参加してもらった。

中学校家庭教育学級は、企画・運営を中学校PTAに委託し、公民館とPTAとが連携しながら、子育てに関する講座や、創作活動など様々な講座を開催した。

親業訓練入門講座は、子どもとのより良いコミュニケーション方法を学ぶため、グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習（訓練）を中心に実施した。参加者からは子どもとのコミュニケーションについて参考になったなどの意見が聞かれ、より良い親子関係を作るための知識、技術を学ぶ機会になっている。これを学ぶことにより、講座生はもちろん、その家族にもよい影響が与えられると感じられるととても有意義な内容であった。

○課題

講座生の満足度は非常に高いが、講座生は減少傾向にある。**幼児家庭教育学級**では、最初に合同講演会を実施し、その際に各学級が具体的な学習内容を紹介するなどの工夫をし、多くの方が参加できるようにしたい。また、保育ボランティアによる保育の時間が最大2時間までで、安全管理上2歳未満の子どもの保育ができないことから、講座の内容や実施方法を工夫する必要がある。

(3) 成人教育推進事業

「女性セミナー」「さわやかセミナー」「舞台コーディネーター養成講座」 「単発講座」

○主な学習内容

女性セミナー：レクダンス、昭和地区議員との懇談、火災予防講座、女性のための防災講座ほか

さわやかセミナー：日曜大工、イノシシの燻製づくりほか

舞台コーディネーター養成講座：舞台、照明、音響操作講習、総合演習

単発講座：暮らしの中で使う刃物の研ぎ方講座（3月11日実施）

○成果

さわやかセミナーは昨年の反省を活かし、より男性が興味を持つよう「アウトドア」をテーマに実施した。開催目的の一つである仲間づくりについては、現役世代の男性であるためか気軽に会話が始まらず、初回の防災講座では緊張感があったが、内容に興味を持ちそれが会話の話題になっていった。回を経るごとに雰囲気も和み、次年度も参加したい、こういう講座を実施してほしいなど要望もあった。

女性セミナーのアンケート結果では、「役に立った」「とても役に立った」との回答が82%あり、「学習したことをいかしていきたい」との感想が多くあった。事業のねらいのひとつである、自己の課題として認識することは達成できたと考えられる。

舞台コーディネーター養成講座は、市民会館大ホールの設備の理解と活用について学ぶことができた。

○課題

さわやかセミナーでは、昨年の反省点を大きく反映し内容を企画したことから参加者が増加したが、全3回で毎回異なる内容で開催しているため、より交流を深めたり、本格的な技術や専門性を習得するには講座生の自主性に委ねられる。また、限られた回数の中で、地域課題への取り組みや交流を念頭にリピーターの確保を行っていかなければならない。

女性セミナーは、健康、火災予防、防災など身近な生活課題を学習テーマとして取り上げている。しかし、毎年1回限りで気づきにはなるものの、自身の活動にまでは発展していない。そのためには、継続した学習が必要で、社会教育推進員、セミナー生を含めて課題の掘り起こしを行う必要がある。

舞台コーディネーター養成講座では、参加者自身だけでなく、他団体の大ホールでの催し物への協力による交流を図りたいが、そこまでには至っていない。

<p>(4) 高齢者いきがい促進事業</p>
<p>「昭和ふれあい教室」「世代間交流事業」</p>
<p>○主な学習内容</p> <p>昭和ふれあい教室：レクリエーションゲーム、ミニ運動会、童謡を唄おう、講話「薬と上手につきあうために」、移動教室など</p> <p>世代間交流事業：自然素材を使ったクリスマスリースづくり、お飾りづくり</p>
<p>○成果</p> <p>昭和ふれあい教室は、①積極的に楽しく参加する、②学級生との会話を楽しむ、③教室に入っていない人への声かけ、④やってみたいことがあったら社会教育推進員・職員へ話す、の4つの目標を掲げ、各回、50名を超える高齢者が楽しく参加することができた。また、高齢者教室では、学級生の高齢化と固定化が課題となるが、昭和ふれあい教室では、地区運営委員の努力により新たな学級生も増えつつある。</p> <p>世代間交流事業は、地区の恒例行事として定着していることに加え、100人を超える参加があった。</p>
<p>○課題</p> <p>昭和ふれあい教室では、引き続き地区運営委員の協力のもと、新たな参加者の掘り起こしを行う。</p> <p>世代間交流事業では、講師の高齢化により、新たな講師の確保が必要である。</p>

<p>(5) 各種行事推進事業</p>
<p>「市民音楽フェスティバル」「芸能文化まつり」</p>
<p>○主な内容</p> <p>第36回市民音楽フェスティバル with 三学大学</p> <p>袖ヶ浦市音楽協会、生涯学習課の市民三学大学講座との共催で実施</p> <p>大ホール、中ホール、フリースペースの3会場で市民が発表し、音楽フェスティバルのメインゲストと市民三学大学の講師としてなぎら健壱氏の講座とコンサートを実施</p> <p>芸能文化まつり：袖ヶ浦市文化協会との共催で、詩吟、カラオケ、フォークダンス、フラダンス、社交ダンスなどの発表</p>

○成果

市民音楽フェスティバル・芸能文化まつりでは、音楽協会や文化協会との共催により、市民が音楽や芸能に触れる機会を設けるだけでなく、各団体が主体的に企画・運営することができた。特に市民音楽フェスティバルは、市民三学大学との共催で実施し、例年にも増してにぎわったという意見が多く聞かれ、出演者からも来場者からも大変好評であった。

○課題

市民音楽フェスティバルについては、大ホール吊天井等耐震対策工事の関係で例年と違う時期に実施したが、大ホールの出演団体が減少したため、例年通り11月末に実施したい。芸能文化まつりでは、文化協会所属団体のほかに市民会館登録サークルが8団体、音楽協会より個人会員が出演した。今後、より多くの団体が出演できるよう呼びかけていくことや出演団体が発表の場として終わることなく、団体が活性化する支援や工夫が必要である。

(6) 公民館地域連携推進事業

「地域で取り組む高齢者講座」「防災に関する講座」「スマホ安全教室」
「登録サークル等を講師とした講座」

○主な学習内容

地域で取り組む高齢者講座：公民館から遠方の地区に出かけて実施する健康講座

防災に関する講座：防災グッズの作成などの体験

スマホ安全教室：スマートフォンの購入を考えている市民を対象とした講座

登録サークル等を講師とした講座：小学生向けの書初め教室

○成果

登録サークル等を講師とした講座は、書道教室を実施し参加者、保護者だけでなく講師からも好評であった。

○課題

参加者から好評を得ているものの、目的である「地域のまちづくり活動へ発展させていくための仕組みを作る」ことにつながっていかなかった。関係課や地域団体との連携、情報交換の実施を検討する必要がある。

② 平成29年度平川公民館事業の成果と課題

(1) 青少年教育推進事業
「子どもクラブ」
○主な学習内容 地層見学、ディンプルアート、正月飾りづくりなど
○成果 物づくりなど様々な体験活動を提供した。社会教育推進員を講師としてブーメランやシフォンケーキ作りを行い、登録サークルを講師として正月飾り作りを実施した。船橋市と共催で地層見学を開催するなど、各方面と連携を図りながら事業を行うことができた。
○課題 中川富岡地区および平岡地区の児童を対象としているが、平岡地区の児童の参加が少ない。

(2) 家庭教育総合推進事業
「幼児家庭教育学級（平岡公民館と合同開催）」「地域家庭教育学級」 「中学校家庭教育学級」
○主な学習内容 エコクラフト、インドアローンボウルズ、心理学講話など
○成果 幼児家庭教育学級では、今年度も平川・平岡公民館合同で開催し、クチコミで学級生を増やすことができた。 地域家庭教育学級・中学校家庭教育学級では、保護者間の仲間づくりを深めることができた。
○課題 幼児家庭教育学級では、乳幼児を抱えながらの講座の開催になるため、講座の内容が限られてしまう。また、一人あたりの参加回数が少なく、仲間づくりを深めることが難しい。 地域家庭教育学級・中学校家庭教育学級では、PTA 役員の参加が大半で、仕事をもち多忙な母親が多く、PTA 役員以外の参加を増やしていくことが難しい。

<p>(3) 成人教育推進事業</p>
<p>「女性セミナー」「ものづくり講座」「園芸講座」「ユースカフェ」</p>
<p>○主な学習内容</p> <p>3B体操、木工（折りたたみテーブル作り）、ほうれん草栽培、中華メニュー作りと交流会など</p>
<p>○成果</p> <p>女性セミナーでは、講座生の関心の高い健康に関する内容については学習効果を高めることができた。</p> <p>ものづくり講座では、夏休みに親子向けDIY教室、秋に子ども向け、成人向け教室と年代別に講座を行い、知識や親睦を深めることができた。</p> <p>園芸講座では、昨年度に引き続きパッションフルーツの栽培の学習の他に、季節に育てる野菜の栽培、地元のサカタのタネ圃場見学など、継続的な学習とともに、身近に緑を感じられる事業展開を行うことができた。</p> <p>ユースカフェでは、講座生を講師とした餃子作りや秋野菜メニュー作り、ドイツ村イルミネーション見学などを行い、若い世代の交流を深めることができた。</p>
<p>○課題</p> <p>女性セミナーでは、内容によって参加者数に差があったため、住民のニーズを把握し、学習効果の高い内容を検討していく。</p> <p>ものづくり講座では、参加者の獲得が難しい。今後の講座内容をどう展開していくか再検討していく必要がある。</p> <p>園芸講座では、参加者によって学びたい内容に違いがあるため、内容によって参加者の偏りがある。土日曜日に開催したが、平日の開催を希望する方が多かった。実施日の再検討も必要になっている。</p> <p>ユースカフェでは、講座の周知に努め、講座生の意見をもとに内容を再検討し、講座生を増やしていく必要がある。</p>

<p>(4) 高齢者いきがい促進事業</p>
<p>「うぐいす学級」</p>
<p>○主な学習内容</p> <p>防災講座、調理実習、レクリエーションなど</p>
<p>○成果</p> <p>認知症サポーター養成講座や防災講座、塩分を考えた調理実習など、生活や健康に役立つ内容で実施し、知識や教養を高めることができた。また、移動教室やレクリエーションでは親睦を深めることができた。</p>

○課題

学級生が超高齢化しつつあり、参加地区の偏りがある。今年度で百目木地区が抜けて地区役員が関わって参加するのは3地区のみとなった。高齢者お出かけ講座（公民館地域連携推進事業）等で参加の少ない地区への働きかけが必要になっている。

（6）公民館地域連携推進事業

「高齢者お出かけ講座」「防災に関する講座」「初級パソコン講座」

「スマホ講座」「登録サークル等を講師とした講座」

○主な学習内容

高齢者お出かけ講座：いきいき百歳体操、レクリエーション、警察による講話

防災に関する講座：防災グッズづくり

初級パソコン講座：年賀状作成

スマホ安全教室：スマートフォンの基本操作

登録サークルを講師とした講座：書初め教室

○成果

防災に関する講座では、地区住民会議中富ふれあいの会主催のデイキャンプ時に、レジ袋の活用や新聞紙を使った夕食のカレー用の器づくり等を行い、参加した大人から子どもまで多くの人に防災についての知識を広めることができた。

スマホ安全教室では、定員20名に対し、60名の申し込みがあり、参加者は生活に役立つスマートフォンの基本的な操作を学習した。

登録サークル等を講師とした講座では、書道サークルに依頼し、冬休みに小学生を対象に書き初め講座を開催した。公民館登録サークルの活性化及び学習成果の活用や地域の交流を図ることができた。

○課題

防災に関する講座では、地区住民会議主催事業と合同で実施したが、地域連携として地区防災組織や広くは自治会などに関わった講座を今後は展開していく必要がある。

初級パソコン講座は年賀状作成をメインに実施したが、定員に達しなかった。内容を再検討していく必要がある。

③ 平成29年度長浦公民館事業の成果と課題

(1) 青少年教育推進事業
「わんぱく教室」「長浦ジュニアお琴・尺八教室」
○主な学習内容 わんぱく教室：ミニ七夕飾りづくり、デイキャンプ、調理実習他 長浦ジュニアお琴・尺八教室：琴、尺八の練習、発表
○成果 わんぱく教室では、子どもたちに自然体験をはじめ様々な体験活動を提供し、参加児童相互の交流を図ることができた。ミニ七夕飾りづくりの際には、参加者が協力して大きな七夕飾りも併せて作成し、長浦公民館ロビーにて展示するなども行った。昨年度に引き続き、季節ごとに募集を行ったことにより、幅広い児童が参加し、子ども達が参加しやすい講座を行うことができた。 長浦ジュニアお琴・尺八教室では、月1回をペースに練習し、公民館まつりなどで、練習の成果を発表した。
○課題 わんぱく教室では、募集方法について工夫を行っているものの、対象児童数に対して申し込み数はあまり芳しくない。引き続き、魅力ある事業展開や募集方法を工夫し、参加者の増加を図る必要がある。 長浦ジュニアお琴・尺八教室では、初心者と経験者のコースを分けて実施している。公民館主催講座として、邦楽に触れる機会として開催し、経験者をサークルに移行していく必要がある。

<p>(2) 家庭教育総合推進事業</p>
<p>「幼児家庭教育学級」「地域家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」</p>
<p>○主な学習内容</p> <p>幼児家庭教育学級：茶話会、調理実習、工作他</p> <p>地域家庭教育学級：茶話会、調理実習、運動、工作他</p> <p>中学校家庭教育学級：情報教育、運動、工作他</p>
<p>○成果</p> <p>幼児・地域・中学校家庭教育学級は、講座の中で参加者同士が会話する機会を増やすため茶話会を講座終了後も部屋を開放して昼食をとることができるようにしたりすることで、参加者同士の交流が深まるよう努めた。スマートフォンなどのSNSを利用して学級開催時以外でも連絡を取り合っている様子が見えたり、育児についても相談しあえる仲間づくりの場となった。</p>
<p>○課題</p> <p>各家庭教育学級の共通の課題として仲間づくりの面では一定の成果を上げていると考えられるが、子育てに関する知識の習得や学習活動を開催すると出席者が減少している。</p> <p>幼児家庭教育学級においては、5館合同のチラシやポスターを作成して幼稚園や1歳半検診時、スーパーなどでの配布や掲示、市の広報紙やホームページに記事を掲載するなど周知活動に努めているが、学級生が各地区に重複して申込、取捨選択し参加しており、学習活動は欠席し、趣味的な活動にのみ出席する場合があります、各地区にて学級生のターゲットを絞るなど工夫を図る必要がある。</p> <p>中学校家庭教育学級では、PTA 役員の参加が大半で、仕事を持ち多忙な母親が多く、PTA 役員以外の参加を増やしていくことが難しい。</p>

(3) 成人教育推進事業

「自分の地域は自分でつくる！地域支援づくり事業」「女性セミナー」
「男性セミナー」「環境講座」「健康生き生き塾」「ながうら雑学塾」
「太極拳入門講座」

○主な学習内容

地域支援づくり事業：溜まり場（全3回）の実施

女性セミナー：運動、調理実習、健康学習、伝統芸能の鑑賞他

男性セミナー：ニュースポーツ、調理実習、健康学習他

環境講座：環境学習、市内の農家や企業の見学、先進的な環境活動見学他

健康生き生き塾：軽スポーツなどの運動、健康学習

ながうら雑学塾：歴史、葬儀やお墓、洗濯表示など多分野の学習

太極拳入門講座：太極拳に興味がある初心者向けの体験講座

お正月飾りづくり講習会：正月飾り作成講座

○成果

環境講座ではエネルギーと食物を今年度のテーマとし、地球にやさしいエネルギーや市内農家の低農薬・有機栽培の取り組みを学習した。また、さまざまな持続可能社会への最新の取り組みを知ることができ、環境問題を再考する機会となった。

健康生き生き塾では、軽スポーツ、骨ナビ、ニュースポーツを通して体力増進を促しながら講座生同士の仲間づくりを図った。**男性セミナー**では仲間づくりが目的であるため、軽スポーツ（インドア・ローン・ボウルズ）や調理実習などを通じて参加者同士の交流を図った。**女性セミナー**では、運動、料理、健康に関する講座に取り組み、講座生の交流を図った。**ながうら雑学塾**では、奈良輪で行われていた製塩や養蚕などの事業家の活動を学んだほか、最近の葬儀・お墓事情や新しい洗濯表示、さらに平成29年中に袖ヶ浦市初の国史跡となった山野貝塚を取り上げ、学習意欲が高く話題性のある内容とすることで学習内容の充実を図った。

○課題

成人教育推進事業に限定されないが、各事業の整理が求められている。**環境講座**は、環境管理課でも同様の講座が企画されているため、今後は環境管理課と共同開催を含めて調整していきたいと考えている。

また、単発講座の**太極拳入門講座**については、平成26年度から太極拳に興味がある初心者向けに体験機会を提供していたが、4年間毎年開催したことで十分に機会提供できたことから次年度は実施しない。今後も事業を適切に整理し、見直していく。

<p>(4) 高齢者いきがい促進事業</p>
<p>「長浦さわやかスクール」</p>
<p>○主な学習内容</p> <p>レクリエーション、芸能発表会、防災講話、健康講話他</p>
<p>○成果</p> <p>新聞紙を使った防災工作教室や、タブレットを使った脳トレ教室など生活に役立つ知識や新しい技術に触れる機会を提供した。講座の参加者からいきいきとした笑顔が見られ、心豊かで生きがいのある高齢期を過ごすという講座の目的を少なからず達成できた。引き続き、生きがい促進のため事業を展開したい。</p>
<p>○課題</p> <p>講座生として登録した人のうち、一度も参加しなかった人がいる。不参加だった原因などを精査し、参加しやすい環境づくりを行う必要がある。</p>

<p>(6) 公民館地域連携推進事業</p>
<p>「地域で取り組む高齢者講座」「防災に関する講座」「初級パソコン講座・スマホ安全教室」「登録サークル等を講師とした講座」</p>
<p>○主な学習内容</p> <p>地域で取り組む高齢者講座：おでかけ健康講座</p> <p>防災に関する講座：炊き出し体験</p> <p>初級パソコン講座・スマホ安全教室：エクセル操作講習他</p> <p>登録サークル等を講師とした講座：書き初め教室</p>
<p>○成果</p> <p>防災に関する講座では、防災倉庫の見学及び防災倉庫に備蓄している各種用具の種類や使用方法を学習し、竈を利用した調理体験を行った。初級パソコン講座では、エクセル2016を中心に基本操作やグラフ作成など学習した。登録サークル等を講師とした講座では、小学生を対象に書き初め教室を開催し、募集人数を上回る申し込みがあった。</p>
<p>○課題</p> <p>初級パソコン講座では、様々な要望があるため、参加者のレベルに合わせた内容について検討していく必要がある。</p> <p>情報教育に関する講座として、地域の高齢者向けにスマートフォンの基本操作を学習するスマホ安全教室を実施した。高齢になるにつれ、新しい情報機器の操作はままならない。しかし高齢者であっても、情報化社会では、最低限の知識は必要である。このため、引き続き情報教育に関する学習機会を提供していく必要がある。</p>

④ 平成29年度根形公民館事業の成果と課題

<p>(1) 青少年教育推進事業</p>
<p>「花まる絵画教室」「子ども絵画教室」「ねがたオープンキャンパス（ねこまる）」</p>
<p>○主な学習内容</p> <p>花まる絵画教室：水彩画制作 子ども絵画教室：水彩画制作 ねがたオープンキャンパス（ねこまる）：勉強や遊び、避難訓練及び消防体験、パフォーマンス（袖高書道部、音楽部）、インドア・ローンボウルズ、太巻寿司づくり、宿泊体験（野外コンサート、花火、袖ヶ浦公園散策、カートンドッグ）</p>
<p>○成果</p> <p>花まる絵画教室・子ども絵画教室では、公民館まつりで子ども達の作品を発表する場を設けた。花まる絵画教室は、定員16名に対して市内全小学校から25名の申込みがあるなど、人気を博している。（今年度は抽選を行い、18名を教室生とした。）</p> <p>ねがたオープンキャンパス（ねこまる）は、地元の小学校児童とN.O.C（「NEGATA OPEN CAMPUS」の略で、主に18歳以上の根形地区に関係する若者たちのグループ）及び登録サークルや地域の高校生、大人が夏休みに勉強や遊びをとおして交流を図っている。今年度は80名を超える申込みがあり、4～6年生の児童26名は、公民館での宿泊体験（1泊2日）も行った。口コミでねこまるを聞いた高校生が今年度参加するなど、ねこまるが地域に浸透してきたように思う。</p>
<p>○課題</p> <p>子ども絵画教室は、昨年度の花まる絵画教室生2名が新たなメンバーになったが、それ以外は固定メンバーになっており、また、定員割れもしている。来年度は、新規メンバーを増やし、かつ、参加申込みが増えるよう、社会教育推進員と相談のうえ対応する。</p> <p>ねがたオープンキャンパス（ねこまる）は、昨年度より申込みが減った。この原因が実施時期や内容なのかを精査し、改善点が必要なものがあれば見直していきたい。また、N.O.Cメンバー確保が事業継続のキーポイントである。そのため、成人式に参加した若者への声掛けや口コミを行う。そして、地域の若者のタテやヨコのつながりを築いていくことを公民館として支援する。</p>

(2) 家庭教育総合推進事業

「乳幼児家庭教育学級」「地域家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」

○主な学習内容

乳幼児家教：栄養士による「おやつの話」・移動教室（アンパンマンミュージアム）・エアロビクス・ロールケーキ作り・クリスマスリース作り

地域家庭教育学級：ヨガ・エアロビクス・移動教室（グリコピア他）

中学校家庭教育学級：ヨガ・エアロビクス・移動教室（郵政博物館他）

○成果

乳幼児家庭教育学級は、今年度から対象者を0歳児の保護者まで拡大し、乳幼児家庭教育学級「うたたねくらぶ」としてスタートし、子ども同伴可・随時募集を掲げ、講座の会場内にキッズスペースを設けて実施し、35名が登録した。特に0歳児・1歳児の保護者の参加が多く、需要を実感した。栄養士による講話・エアロビクス・ロールケーキ作り・移動教室等を実施し、エアロビクスは特に好評で、定期的にできたらとの声もあった。

地域家庭教育学級は、今年度も小学校PTA文化研修委員と協働で講座を企画するとともに、中学校家庭教育学級と合同で実施した。今年度は、例年と異なり、スポーツ体験に力を入れ、ヨガやエアロビを実施した。また、子どもたちの給食事情を学ぶことを目的に、給食センターへ見学・試食に行った。どの回も参加者同士内で情報交換や懇親を図ることができた。

中学校家庭教育学級は、中学校PTAに委託し、地域家庭教育学級と合同で実施した。移動研修では、「心ヲツナグ 世界ヲツナグ」をコンセプトにした郵政博物館を見学に行くなど、企画・運営を工夫している。

○課題

乳幼児家庭教育学級は、講座生の同伴の子どもの世話を公民館職員や社会教育推進員がせざるをえない状況になることがあり、負担が大きかった。子連れでの参加は今後も受け入れたいが、運営方法を検討する必要がある。

地域家庭教育学級は、学級生を随時募集しているが、PTA文化研修委員以外の参加が少ない。また、魅力ある講座になるよう今後も小学校PTA文化研修委員とコミュニケーションを図っていく。

中学校家庭教育学級は、学級生を随時募集しているが、PTA研修委員以外の参加が少ない。地域家庭教育学級と合同で実施している中で、テーマ設定をどうするか。小学生の保護者が関心を持つテーマと中学生の保護者が関心を持つテーマがマッチするものになっているか。また、きちんと学習も含まれているか。検討していく必要がある。

(3) 成人教育推進事業

「女性セミナー」「成人絵画教室」「地域再発見講座」

○主な学習内容

女性セミナー：フラダンス・調理実習・ねがたファミリーコンサート鑑賞・メイクアップ講座・移動教室・軽スポーツ・お正月リース作り・お菓子作りと茶話会

成人絵画教室：静物写生・自画像制作・風景写生・移動教室（千葉県立美術館）

地域再発見講座：「ねがた昔語り」・移動教室・フィールドワークの基礎講座（地図の活用・石造物の調査）・オープンセミナー「石造物調査からわかること」・フィールドワーク（石造物調査の実際）・学習発表会

○成果

女性セミナーは、講座後の日常生活にも取り入れることのできるテーマを選定して実施した。特に、移動教室の落語鑑賞、軽スポーツは好評であり、中華まん作りは家でやってみたという声が多かった。また、今年度は根形地区在住者3名が新規に参加した。

成人絵画教室は、講座生19名で、水彩・油彩などの基礎を学び、公民館まつり及びサークル作品展での展示作品制作を中心に活動した。千葉県立美術館への移動教室では、見学だけでなく美術館のアトリエと石膏像等を借りてのデッサンや隣接する千葉ポートパークでの写生を行った。美術館の好意で通常利用では入れないアトリエ等の利用ができて有意義なものとなった。

地域再発見講座は講座生25名で、地域に残るさまざまな事象を調査・記録し未来へ伝えることを目標に、野外学習を中心に活動した。座学では調査に必要な知識として、地図の活用方法や石造物の調査方法を中心に学習した。移動教室では古地図を手にしたの散策を上野公園周辺で実践した。また、講座生の発表を題材とした学習や公民館まつりでの展示など、講座生の発表機会を多く設けた。

○課題

女性セミナーは、今年度3名の新規参加があったものの講座生の固定化が顕著であり、また根形地区在住の講座生が少なく、現講座生の高齢化を考慮すると今後存続が難しい状況も予測できるので、固定化の解消・地区在住者の参加増に向けての取り組みがさらに必要である。

現在根形公民館で活動する絵画サークルは5団体で、「成人絵画教室」の卒業生がサークル活動に入れるようなサークルとの交流の場を作れるか検討を要する。

地域再発見講座は、現状では公民館主体になっているのが課題であり、今後は講座生の自主性をさらに引き出すとともに、展示やマップ作り等、講座生が成果を発表しやすい仕掛け作りを試みたい。

(4) 高齢者いきがい促進事業
「根形ニコニコ教室」
○主な学習内容 ふまねっと運動・健康講座（糖尿病について）・移動教室・軽スポーツ（ラダーゲッター他）・市給食センター見学・16ミリ映画鑑賞会・お楽しみ演芸会
○成果 対象7地区中3地区から地区運営委員を選出し、企画・運営にあたり51名が在籍している。
○課題 昨年度まで大曾根・のぞみ野地区は、公用車を使用して送迎を実施していたが今年度これを廃止したため、大曾根地区の参加者が1名となった。その後、小型バスによるのぞみ野マルシェ間の送迎を実施したが、今後の参加人数次第ではそれも難しく、自力での参加が難しい高齢者への対応は今後も課題である。

(5) 各種行事推進事業
「サークル作品展」
○主な内容 芸術系の根形公民館登録サークルと成人絵画教室・陶芸教室による絵画・陶芸・書・生け花・表装の作品展。
○成果 サークル活動と成人絵画教室・陶芸教室の1年間の成果発表として3月に実施している。サークル代表者による実行委員会が主催となり、会場設営・展示作業・当日の受付等をサークルの会員が担当する。参加者の技術向上とこれまでの活動が周知されたことにより、来場者も増加している。今年度は3月17日（土）～3月25日（日）に開催する。
○課題 現在事務局として公民館が負担している作業について、実行委員会に移行できるものがないか実行委員と協議していく必要がある。

(6) 公民館地域連携推進事業

「地域で取り組む高齢者講座」「防災に関する講座」「スマホ安全教室」
「登録サークル等を講師とした講座」

○主な学習内容

地域で取り組む高齢者講座：おでかけ講座（いきいき百歳体操）

防災に関する講座：避難所へGO！！

スマホ安全教室：高齢者を対象としたスマートフォンの基本操作

登録サークルを講師とした講座：書初め教室

○成果

地域で取り組む高齢者講座は、袖ヶ浦いきいき百歳体操の実施を検討している地域と協働で実施する。高齢者支援課と地域との連携が図る企画である。

防災に関する講座は、「避難所へGO！！～災害発生！君ならどうする？！」をテーマで袖ヶ浦市災害対策コーディネーター連絡会の協力を受け実施する。講座内容は、小学校から公民館まで徒歩で移動し、また、自身で持参した防災グッズを発表する。本事業により、災害発生の際に、自分のため、家族のために生き抜いていくヒントを学ぶ。

スマホ安全教室は、「スマートフォンを購入したが、使い方がわからない」というシニアの方を対象に、わかりやすく、丁寧に使い方を説明する「シニアのためのスマートフォン教室」を平岡公民館と合同で実施した。定員20名に対し、倍以上の参加申込みがあるなど、人気を博している。

登録サークル等を講師とした講座は、小学校3年生から6年生を対象に、「書き初め教室」を実施した。事業を実施するにあたり、学校に書き初めのノウハウを聞くなど情報交換を行った。書き初めは、冬休みの宿題になっていることもあり、28名が参加した。子どもたちも熱心に活動し、講師として参加した登録サークルも日頃の活動成果を活かし、充実した時間を過ごしていた。

○課題

地域で取り組む高齢者講座は、根形地区でいきいき百歳体操が浸透した場合、いきいき百歳体操以外の企画を検討する必要がある。

防災に関する講座は、社会教育推進員の発案による炊き出し体験と本事業のすみ分けをどうするか検討する必要がある。

スマホ安全教室は、高齢化に伴い新しい情報機器の操作を覚えていくことは課題である。高齢者であっても、最低限の知識は必要であり、より多くの方が受講できるよう、来年度は、根形公民館単独での実施を検討したい。

登録サークル等を講師とした講座は、各館でサークルの形態は違うことから、来年度は、各館の個性を出せないか検討したい。また、特定のサークルのみならず、各サークルの魅力を活かした講座を企画する。

⑤ 平成29年度平岡公民館事業の成果と課題

<p>(1) 青少年教育推進事業</p>
<p>「ひらおか子ども教室」</p>
<p>○主な学習内容</p> <p>星空観察会、化石発掘体験、オーケストラ楽器体験、国際理解講座（英語）、液体窒素体験</p>
<p>○成果</p> <p>星空観察会・化石発掘体験・液体窒素実験などの科学実験や、オーケストラの楽器体験、イギリス人講師によるイギリスの歌や遊びを通しての国際理解など、特色のある学習を実施することができた。普段触れる機会が少ない体験学習を実施したことで、参加児童も新たな興味を持ったり、新発見があったようである。</p>
<p>○課題</p> <p>昨年度は案内チラシを平岡・中川小学校だけに配布していたが、今年度は根形・長浦小学校まで拡大して配布し、講座開催の周知に努めた。今後も、地域を限定せず、市内全域の子ども達を対象に事業実施を考える必要がある。また、子ども達のニーズを把握するとともに、適切な開催日についての検討も必要である。</p>

(2) 家庭教育総合推進事業

「幼児家庭教育学級（平川公民館と合同開催）」「ひらおか地域家庭教育学級」

○主な学習内容

「幼児家庭教育学級」：茶話会・デンプルアート、絵本の読み聞かせ、エコクラフトのかごづくり、調理実習、移動教室、5館合同講演会（テーマ：子育て）、お菓子の家づくり・クリスマス演奏会

「ひらおか地域家庭教育学級」：茶話会・レジンのアクセサリーづくり、移動教室、プリザーブドフラワーづくり、5館合同講演会（テーマ：いじめ）、ZUMBA（軽運動）、調理実習

○成果

幼児家庭教育学級は、平川・平岡公民館合同で開催し、クチコミで学級生を増やすことができた。

ひらおか地域家庭教育学級は、前年度に引き続き、平岡小学校PTA役員（文化研修委員）と合同で移動教室を運営した。PTA役員と連携することで、事業の周知、参加者の増加を図ることができた。

○課題

幼児家庭教育学級は、乳幼児を抱えながらの講座開催になるため、講座の内容が限られてしまう。また、一人あたりの参加回数が少なく、仲間づくりを深めることが難しい。

ひらおか地域家庭教育学級は、平成27年度から平岡小学校PTAと連携した学級運営に向けた取り組みを行っているが、役員交代の際に公民館事業の協力について理解が得られておらず、年度当初に戸惑われるケースが多かった。次年度以降、PTA役員の打合せに積極的に参加し、さらなる協力体制を築きたい。

また、学級生の固定化も進んでおり、低学年の子どもを持つ保護者の参加が少ないため、PR方法を検討する必要がある。

(3) 成人教育推進事業

「国際理解セミナー」「わくわく女性倶楽部」「ひらおか地域ふれあい推進事業」「男性のための料理教室」

○主な学習内容

「国際理解セミナー」：ブラジルに関する講座

「わくわく女性倶楽部」：歌声広場、アロマセラピー、健康講座、施設見学、移動教室、福祉体験、クリスマスリースづくり、3B体操

「ひらおか地域ふれあい推進事業」：正月飾り・カレーづくり、昔の生活体験（餅つき、黄な粉づくり）

「男性のための料理教室」：調理実習

○成果

国際理解セミナーは、通年テーマをブラジルとし、言語・音楽・料理など体験型講座も取り入れて、私たちが知らない外国の社会情勢や文化について学び、国際理解をより深めるための学習の場を市民に提供することができた。

わくわく女性倶楽部は、全8回のうち2回を「ひらおかシニアセミナー」と合同で開催するなど、各講座生の交流を図りつつ、様々な学習内容を提供することができた。

ひらおか地域ふれあい推進事業は、平岡地区の世代間交流を図るため、伝統技術の伝承と体験型学習を行った。楽しく和やかな雰囲気の中、世代を超えて交流することができた。

男性のための料理教室は、調理の経験が少ない団塊世代を対象に、日常生活の自立支援を行うとともに、食生活に関する知識を提供することができた。

○課題

国際理解セミナーは、市民のニーズを把握し、テーマ（国・分野）を決定する必要がある。

わくわく女性倶楽部は、参加者が固定化されており、新たな学級生の開拓のための工夫が必要である。講座がマンネリ化しないよう、ニーズを反映した学習内容とする必要がある。

ひらおか地域ふれあい推進事業は、前期の実施計画事業を継続して開催した講座なので、今後は世代間交流等を目的とした別の事業展開を検討する。

男性のための料理教室は、ひらおかシニアセミナーの男性参加者が少ないため実施している性格が強く、平岡地区の男性（主に高齢者）の参加を促し、食生活改善を進めていく必要がある。

(4) 高齢者いきがい促進事業
「ひらおかシニアセミナー」
○主な学習内容 歌声広場、レクリエーション、調理実習、健康講座、落語、絵手紙づくり、移動教室、3B体操
○成果 全9回のうち2回を「わくわく女性倶楽部」と合同で開催するなど、各講座生の交流を図りつつ、バラエティーに富んだ学習機会を提供した。歌声広場・レクリエーション・絵手紙づくりなどの体験型の学習内容も取り入れて、参加者が興味を持てる学習機会を提供した。
○課題 講座生の高齢化・減少化に加えて、男性学級生の減少のため、男性学級生が参加しにくい雰囲気になっている。平岡地域の男性高齢者のニーズを把握するなど、男性学級生の増加に努める必要性がある。

(5) 各種行事推進事業
「サークル交流会」
○主な内容 芸能サークル発表（合唱、ハーモニカ・オカリナ演奏、銭太鼓・日本舞踊の実演）
○成果 今年度で6回目の実施となったが、参加団体のスケジュールの関係で6月から9月開催に変更した。高齢者施設入所者や地域の方々の来館もあり、平岡公民館文化・スポーツまつり以外に芸能サークルの発表機会を提供することができた。
○課題 平岡公民館登録サークル21団体（当時）のうち、参加団体が5団体（昨年度は7団体）に留まっている。また、実際には平岡公民館文化・スポーツまつりの芸能サークル発表会のコンパクト版になっており、サークル間の交流活動までは至っていない。今後は、登録サークル等とともに開催時期・実施方式を諮っていきたい。

(6) 公民館地域連携推進事業

「地域で取り組む高齢者講座」「防災に関する講座」「スマホ安全教室」
「登録サークル等を講師とした講座」

○主な学習内容

「地域で取り組む高齢者講座」：袖ヶ浦いきいき百歳体操
「防災に関する講座」：オイルランプづくり（通学合宿と共催）
「スマホ安全教室」：スマホ操作講習（高齢者対象）
「登録サークル等を講師とした講座」：子ども書き初め教室

○成果

地域で取り組む高齢者講座は、川原井第6分区・高谷区を対象に、市で推奨している「袖ヶ浦いきいき百歳体操」の説明会と実演を行い、百歳体操に興味を持つきっかけづくりを行うことができた。

防災に関する講座は、地区住民会議「名幸ヶ丘の会」の通学合宿との共催でオイルランプづくりを行い、子ども達の防災意識を高めることができた。

スマホ安全教室は、「スマートフォンを購入したが、使い方がわからない」というシニアの方を対象に、わかりやすく、丁寧に使い方を説明する「シニアのためのスマートフォン教室」を根形公民館と合同で実施した。定員20名に対し、倍以上の参加申込みがあるなど、人気を博している。来年度も引き続き、情報教育に関する学習の機会の提供をしていきたい。

登録サークル等を講師とした講座は、子ども書き初め教室として平岡小学校2～6年生が参加し、学校からは書き初めが上達したという評価を得ることができた。

○課題

地域で取り組む高齢者講座については、袖ヶ浦いきいき百歳体操は継続して続けることで効果を発揮し、川原井第6分区は3月から川原井区全体で自主的な活動に移行することになった。今後も高齢者支援課との連携を継続し、百歳体操が行われていない地区を開拓するとともに、百歳体操の自主的な活動を支援していく必要性がある。

防災に関する講座は、毎年、対象者と講師の選定（今年度はNPO法人 ゆかいな仲間たち）に苦慮している。平成30年度は、危機管理課主催の地区別防災訓練と共催して行う予定である。

スマホ安全教室は、高齢になるにつれ、新しい情報機器の操作はままならない。しかし高齢者であっても情報化社会では、最低限の知識は必要であり、より多くの方が受講できるよう、平岡公民館単独での実施を検討したい。

登録サークル等を講師とした講座は、登録サークルに指導を依頼したが、講師としての経験が少なかったため、今後は連絡を十分にするなど改善を図りたい。

平成29年度市民会館公民館主催事業実施一覧

	市民会館	平川公民館	長浦公民館	根形公民館	平岡公民館
青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室	子どもクラブ	わんぱく教室	子ども絵画教室	ひらおか子ども教室
	子ども映画会		長浦ジュニアお琴尺八教室	花まる絵画教室	
				ねがたオープンキャンパス	
家庭教育総合推進事業	幼児家庭教育学級	幼児家庭教育学級(平岡と合同)	幼児家庭教育学級	乳幼児家庭教育学級	幼児家庭教育学級(平川と合同)
	地域家庭教育学級	地域家庭教育学級	地域家庭教育学級	地域家庭教育学級	地域家庭教育学級
	中学校家庭教育学級	中学校家庭教育学級	中学校家庭教育学級	中学校家庭教育学級	
	親業訓練入門講座				
成人教育推進事業	女性セミナー	女性セミナー	女性セミナー	女性セミナー	わくわく女性倶楽部
	さわやかセミナー	ものづくり講座	男性セミナー	成人絵画教室	国際理解セミナー
	舞台コーディネーター養成講座	園芸講座	健康生き生き塾	地域再発見講座	ひらおか地域ふれあい推進事業
	単発講座		環境講座		男性のための料理教室
			ながうら雑学塾		
			太極拳入門講座		
高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室	うぐいす学級	長浦さわやかスクール	根形ニコニコ教室	ひらおかシニアセミナー
	世代間交流事業				
各種行事推進事業	市民会館まつり	公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり	文化・スポーツまつり
	市民音楽フェスティバル	ロビー展示	ロビー展示	根形公民館サークル作品展	サークル交流会
	芸能文化まつり			ロビー展示	ロビー展示
	ロビー展示				
公民館地域連携推進事業	★地域で取り組む高齢者講座・★防災に関する講座★初級パソコン講座・スマホ安全教室★登録サークル等を講師とした講座				
成人式実施事業	成人式	成人式	成人式	成人式	成人式
まち・ひと・しごと創生関連事業	★花咲け！女性シェフ応援事業	★ユースカフェ	★自分の地域は自分でつくる！地域支援づくり事業		
青少年健全育成事業	青少年相談員支部活動	青少年相談員支部活動	青少年相談員支部活動	青少年相談員支部活動	青少年相談員支部活動
	子ども会支部活動	子ども会支部活動	子ども会支部活動	子ども会支部活動	子ども会支部活動
	地区住民会議 (坂戸の森みどりの会)	地区住民会議 (中富ふれあいの会)	地区住民会議 (長浦あおぞらの会)	地区住民会議 (根っ子の会)	地区住民会議 (名幸ヶ丘の会)
その他	公民館運営審議会	公民館運営審議会	公民館運営審議会	公民館運営審議会	公民館運営審議会
	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会
	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動
	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新

議題（２）平成３０年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）について

平成３０年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）

１．経営方針

市民会館・公民館は、第２期教育ビジョンの基本目標である「明日を拓く 心豊かな たくましい 人づくり」の実現に向け、「地域」「子ども」「市民」の視点から、「学び つながり 支えあう教育」を推進します。

そのために、地域の持つ課題や社会の変化に応じた課題を十分に把握して、市民、学校をはじめとした関係機関、各種団体及び社会教育推進員との連携により、市民の生活や暮らしを豊かにする学習活動を展開します。

また、「袖ヶ浦市みんなが輝く協働のまちづくり条例」による地域コミュニティの活性化に資する施策を推進するとともに、地域コミュニティによるまちづくりを支援します。

２．重点施策

市民会館・公民館は、「地域」「子ども」「市民」に対し今後取り組まなければならない目標を定め、これを遂行するための施策の方向性を重点施策として社会教育の充実を図ります。

目標１：地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上を図ります

(ア)地域で子どもを守る体制づくり

地域で子どもの安全を守るため、子ども安全パトロールなどの取り組みを行う地区住民会議及び青少年相談員の活動を支援します。

(イ)子どもたちの体験・交流活動等の場づくり

子どもたちの体験活動、交流活動を行う青少年相談員、子ども会育成会、地区住民会議及び社会教育関係団体等の諸活動を支援します。

②家庭の教育力の向上を図ります

(7) 家庭の教育力向上のための支援

子育てに関する学習を通して、同じ世代の子どもを持つ保護者の交友関係を広げることを目的に、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級を開設します。

なお、より多くの保護者への学習機会の提供と家庭教育学級のPRを兼ねて、子育てに関する合同講演会を公開講座として引き続き開催します。また、関係機関・団体との連携をいっそう深め、学習内容の充実と子育てに関する情報の提供に努めます。

平川公民館と平岡公民館では、引き続き「幼児家庭教育学級」を合同で開催して参加者同士の交流をより一層進めます。

(イ) 子育て支援体制の充実

ホームページや館報を活用して、家庭教育学級の活動の紹介や子育てサークル等に関する情報提供を行います。

③地域の拠点づくりを推進します

(7) 公民館における青少年事業の充実

子どもたちに不足しているといわれている自然体験・社会体験などの機会を提供します。また、集団での活動により社会生活に必要な規範意識や協調性を身につけ、心豊かなたくましい子どもを育成します。

市民会館では、「子どもチャレンジ教室」を、長浦公民館では「わんぱく教室」を引き続き開催し、種々の体験活動などを提供します。

平川公民館では、小学生に様々な体験の場を提供するため「子どもクラブ」を継続して実施し、公民館サークル・地域団体等との連携を深め内容の充実を図ります。

根形公民館では、文化芸術活動の拠点として、小学生を対象に「花まる絵画教室（低学年）」や「子ども絵画教室（高学年）」を実施し、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、積極的にその活動を周知します。

また地域の若者と協働で、将来、地域を担う仲間となる青少年が集い、交流し、育ちあう場所となる「ねがたオープンキャンパス（ねこまる）」を開催します。

平岡公民館では、自然体験や社会体験の機会を提供するとともに、外

国の文化や歴史に関心を持ち国際理解に役立つような、市内小学生を対象にした「こども教室」を地域団体や人材、他の公民館と連携して実施します。

(イ) 地区住民会議への支援

通学合宿・デイキャンプ・世代間交流事業や子ども安全パトロール等、地域で青少年の健全育成に取り組む地区住民会議への支援を引き続き実施します。

また、長浦公民館では、長浦地区住民会議ながうら青空の会とともに「自分の地域は自分でつくる！地域支援づくり事業」を通して、地域住民自らが生活課題をはじめとする地域課題に取り組みやすくする仕組みづくりの支援を継続して実施します。

目標 2 : 市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

①生涯学習推進体制の充実を図ります

(7) 生涯学習に関する情報の収集と活用の推進

生涯学習に関する情報を収集し、学習相談への対応を図ります。また、ホームページをさらに充実し、館報の発行とあわせて、公民館活動の広報を積極的に進めます。

(イ) 社会教育関係団体の活動への支援

利用者懇談会を開催し、市民会館・公民館の経営方針や事業運営についての理解を図るとともに、公民館登録サークル等社会教育関係団体の活性化と自主的な運営を支えるための支援を行います。

市民会館では、会員の減少や高齢化が見られるサークルを支援するため、引き続き新たな会員確保の機会となるよう体験会実施の働きかけを行いサークルの継続化と活性化を支援します。

根形公民館では、各サークルへ講座等の講師を積極的に依頼するとともに「ねこまる」等の事業への参加を呼びかけ、サークル活動の紹介と会員の確保を支援します。

平岡公民館では、サークル同士がお互いの活動を紹介しながら交流を図る場、地域の方々に平岡公民館で活動するサークルの活動を紹介する場として、サークル交流会を継続して実施します。

②人と人をつなぐ社会教育の充実を図ります

(7) 市民への学習機会の提供と地域と連携した公民館活動の充実

市民の幅広い学習ニーズに応える社会教育の拠点として、社会教育推進員の参画により、それぞれの地域の特性に応じた学級・講座を開催します。また、地域の活動拠点として、関係行政機関や地域の各種団体、公民館登録サークル等と連携・協力を図るとともに、公民館運営審議会の意見を聴きながら引き続き事業運営にあたります。

市民会館では、「さわやかセミナー（働きざかりの男塾）」を社会教育推進員の企画により引き続き実施し、現役世代の男性の地域デビューと公民館の利用の促進について検討します。

平川公民館では、庭木の手入れに必要な知識や技能を身につけ、生活の向上に役立てていくことを目的に、新規事業として「庭木の手入れ入門講座」をシルバー人材センターとの共催で実施します。また、ユースカフェ『3あい「であい まなびあい わかちあい」事業』を引き続き実施し、公民館利用の少ない20代から40代を対象にした講座を開催し、出会いと交流の場を提供していきます。

長浦公民館では、「自分の地域は自分でつくる！地域支援づくり事業」として、長浦地区住民会議ながうら青空の会と共催し、公民館で地域住民が気軽に交流できる「溜まり場」などを開催し、後継者となる人材の掘り起こしをはじめとする地域支援の仕組みづくりについて引き続き検証するものです。また、自然環境や生活環境に対する意識を高めることを目的とし、市民の視点に立った内容の「環境講座」を企画し引き続き実施します。

根形公民館では、災害時において、参加者自身が自助・共助により生き延びていくノウハウを学ぶことを目的に、避難所となる公民館で「炊き出し体験」を引き続き実施していきます。

平岡公民館では、「地域ふれあい推進事業」を世代間交流等を目的とした事業展開について見直しを行います。

(4) 利用者ニーズに沿った施設の改修と整備

市民が利用しやすく安心して安全な施設を提供するために安全点検日を設け、施設の定期的な安全点検を実施し適切な維持管理に努めます。また、市民会館では、大ホール棟の外壁及び屋根の改修工事を実施しま

す。長浦公民館では、エレベーター及び多目的ホール床改修工事を実施します。平川公民館富岡分館では、多目的ホールの吊天井等耐震対策工事を実施します。

災害時には地域住民の避難所、福祉避難所としての機能を果たすため、その円滑な運営に向けて準備を継続します。

③地域に根ざす文化・芸術活動を推進します

(7)文化・芸術振興のための市民活動の支援

市民会館・公民館では、市民だれもが郷土の芸術に親しみながら教養を高め、創造することを楽しむとともに、社会教育関係団体等の発表機会や交流の場を提供します。

さらに、文化芸術活動の振興として市民会館・根形公民館は、社会教育関係団体等との共催による文化・芸術事業を展開します。

市民会館では、引き続き音楽協会との共催による「市民音楽フェスティバル」と文化協会との共催による「芸能文化まつり」を開催します。また、新たに公益財団法人千葉県文化振興財団との共催により、年齢制限を設けず、親しみやすく子どもが理解しやすい「親子 de オペラ鑑賞デビュー」を開催し、次代の文化の担い手の育成を図ります。

長浦公民館では、わが国の伝統音楽である邦楽を子どもや市民が自ら演奏して楽しむ機会を提供するため「長浦ジュニアお琴・尺八教室」を開催するとともに、音楽協会の団体と連携し、子どもの文化芸術活動の充実と邦楽の継承者育成を図ります。

根形公民館では、実行委員会が主体となり「サークル作品展」を開催し、主催事業や公民館を拠点として活動する芸術・工芸分野のサークルの学習成果を発表する機会とします。

目標 3：市民のニーズに応じた市民会館・公民館づくり

①公民館運営審議会の充実

公民館事業の企画や公民館の諸課題について提案をし、公民館運営審議会の意見を反映しながら公民館運営の充実を図ります。

②運営評価への取り組み

市民会館・公民館の運営評価について、継続的により良い手法を検討し随時見直しを図ります。

③職員の資質の向上

公民館職員の資質の向上のため、君津地方公民館連絡協議会などの研修に積極的に参加します。また、各館の事業担当者による会議や研修会等により職員間の情報共有と新任職員への事業運営や施設管理の基本的な知識の習得を図ります。

④公民館施設の利用促進

ロビーなど誰でも利用できる場所をオープンスペースとして開放し、公民館施設の利用を促進します。

市民会館ではフリースペース、長浦公民館、平川公民館及び平岡公民館ではロビーを開放し子どもから高齢者までの学習や憩いの場を提供します。また、根形公民館では和室など一部の施設について開放日を設け、乳幼児を抱えた保護者や夏休み中の子どもなどが気軽に利用できる場を提供し、各公民館が地域の住民にとって身近で、人の集まる、地域の拠点としての公民館をめざします。

報告（１）君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会・君津地方公民館連絡協議会合同研修会について

- 日 時 平成30年1月31日（水）
- 会 場 富津市富津公民館
- テーマ 「人を育てる、地域を育てるこれからの公民館のあり方とは」
講師：金田光正 氏（月刊社会教育編集長）
- 参加人数 9人

報告（２）君津地方社会教育委員連絡協議会・君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会研修会について

- 日 時 平成30年2月7日（水）
- 会 場 富津市富津公民館
- テーマ 「現在進行形『おばちゃん社会教育委員奮闘記』」
講師：小池玲子 氏（長野県社会教育委員連絡協議会会長）
- 参加人数 6人

平成30年袖ヶ浦市成人式実施結果

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標を掲げ、袖ヶ浦市の成人式を開催した。市民会館・長浦公民館・根形公民館・平岡公民館の4会場に分かれて実施した結果は下記のとおりである。

1. 実施状況

昭和・長浦・根形・平川地区は1月7日（日）午前9時30分から受付、10時30分から式典。蔵波地区は午後0時45分から受付、午後1時30分から式典。式典終了後は、それぞれの会場で記念撮影やビデオレターなどの記念行事を実施し終了した。

2. 式典出席者

地 区	対 象 者			出 席 者			出席率 %	前 年 出席率%
	男	女	計	男	女	計		
昭和地区	97	92	189	68(8)	69(4)	137(12)	72.5	75.1
長浦地区	55	59	114	41(6)	45(4)	86(10)	75.4	75.0
蔵波地区	81	76	157	68(9)	60(3)	128(12)	81.5	74.2
根形地区	24	25	49	20(3)	23(2)	43(5)	87.8	91.8
平川地区	61	70	131	51(4)	53(5)	104(9)	79.4	83.6
計	318	322	640	248(30)	250(18)	498(48)	77.8	77.9

対象者には、地元中学卒業の市外転出者含む（カッコ内は市外転出者出席者数）

5年間の推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
対象者数(人)	638	676	627	684	640
出席者数(人)	506	524	485	533	498
出席率(%)	79.3	77.5	77.4	77.9	77.8

3. 記念行事

各館で行われた記念行事の内容と参加人数は次のとおりである。

【昭和地区】

会 場 市民会館
 内 容 恩師を招いての立食パーティー（1,000円会費）
 記念撮影（1,000円）
 参加人数 139人（恩師17人を含む）

【長浦地区】

会 場 長浦公民館
 内 容 ビデオレター・記念撮影（1,000円）
 参加人数 86人

【蔵波地区】

会 場 長浦公民館
 内 容 ビデオレター・記念撮影（1,000円）
 参加人数 128人

【根形地区】

会 場 根形公民館
 内 容 祝賀パーティー（思い出のDVD上映）
 中学校へCDラジカセを寄贈
 記念撮影（1,000円）
 参加人数 100人（恩師12人、家族45人を含む）

【平川地区】

会 場 平岡公民館
 内 容 ビデオレター上映
 合唱（名づけられた葉、ケ・サラ）
 記念撮影（1,000円）
 参加人数 104人

4. その他の参加者

地 区	来 賓 (実行委員は除く)	実行委員	職 員 (実行委員は除く)	そ の 他	計
昭和地区	17	6	4	11	38
長浦地区	8	7	3	13	31
蔵波地区	10	7	3	13	33
根形地区	7	5	1	24	37
平川地区	11	11	5	4	31
計	53	36	16	65	170

※ 来賓には案内者（主催者）を含む。

※ 実行委員には、新成人は含まない。

※ その他は、社会教育推進員、青少年相談員などの会場設営協力者

5. 記念品

昨年、全館の新成人実行委員を対象に検討会議を実施した結果、平成29年からの平成31年までの3年間はガウライラスト入りフォトフレームにすることに決定し、当日に配付を行った。

6. まとめ（目標に対する結果）

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標に対する結果は下記のとおりである。

【昭和地区】

当日は、受付開始とともに、少しずつ新成人が来場したが、案内係と受付係として、実行委員以外の新成人の協力もあり、新成人が積極的に役割を担ったため混乱もなく、例年よりスムーズに式典を開始することができた。

また、式典中も、新成人全員が落ち着いた態度で、厳粛な雰囲気の中で進行することができた。司会進行などを担当した新成人も、自分たちの責任のもとそれぞれの役割を果たすことができた。新成人代表の挨拶では、地域への感謝、地元への愛着、これから社会人として自覚をもって行動していく決意を自分の言葉で述べ、とても素晴らしいものであった。

記念行事は、会場を中ホールに移し、新成人企画の立食パーティーを行った。小中学校時代の恩師が多数参加し、とても和やかな雰囲気で開催された。準備、本番、片付けとすべてにおいて新成人実行委員が中心となり主体的に実施するなど、とてもよい成人式になった。

【長浦地区】

やや風があったものの、天候に恵まれ、新成人の門出にふさわしい成人式となった。式典は、整然とした雰囲気の中で進められ、新成人の挨拶もしっかりとしたものであり、成人としての自覚が十分に見られた。

記念行事では、自分達の歩みを振り返るスライドショーと、数名の恩師のビデオレター上映後に、恩師本人が登場するサプライズに新成人から驚きと喜びの声が聞こえた。また、壇上からの恩師の直接の祝辞に会場が当時の教室に戻ったようであり、新成人の実行委員の苦勞が報われた。

社会教育推進員、青少年相談員など多くの地域の方に支えられ、成人式を無事に終えることができた。

【蔵波地区】

午後になると気温も上がり、過ごしやすい中での成人式となった。艶やかな着物姿やピシッと着込んだスーツの新成人が多く参加した。今年も爆音とともに登場する新成人もいたが、式典が始まる頃には大人の態度で会場に入場した。式典では、新成人代表が感謝と決意を表す挨拶を述べると、新成人の表情も引き締まったように見えた。また、その言葉は招待した恩師にもしっかりと届き、成長を感じ取っていたようであった。

記念行事では、当時の学校での出来事や、恩師からのビデオレターが映し出されるたびに歓声が上がり、長浦地区同様何名かの恩師が壇上で挨拶を行うと、会場内は温かい雰囲気包まれた。

記念行事が少し長引き、新成人も久しぶりの出会いが名残惜しいのか、なかなか帰路につかず、後片付けに時間を要したものの、大過なく終了することができた。

【根形地区】

記念式典は、あたたかい雰囲気に包まれていた。新成人代表の挨拶をはじめ、司会や指揮、伴奏など、新成人たちの振る舞いは立派であり、式典に参加した家族、恩師も新成人の成長を強く感じていた。

式典終了後に行った祝賀パーティーは、新成人自ら企画・運営した。パーティーの冒頭新成人から根形中学校へ記念品の贈呈が行われた。記念品贈呈は、毎年行われており、こういった地域への恩返しは、根形地区の伝統になっている。その後、参加した恩師からの言葉、また、小・中学校時代の映像視聴は、新成人のみならず、参加した家族にも有意義であった。

パーティー終了後、第2回実行委員会議を行った。終了して間もないこともあり、新成人の感想がとても新鮮であった。また、新成人以外の実行委員からは、新成人を称賛する声が多くあった。今日という日を忘れず、根形地域のために精一杯頑張って貢献して欲しいといった実行委員長言葉は、新成人の心に響くものがあった。

毎年、多くの根形地域の方々が、新成人の門出のために尽力する姿は、根形の地域愛を感じさせるものである。

【平川地区】

記念式典では、実行委員として進行や国歌斉唱の指揮・伴奏などを担当した新成人がそれぞれの役割を立派に果たし、厳粛な雰囲気の中で進めることができた。

記念行事はビデオレターと合唱を行った。ビデオレターでは小中学校生活の思い出写真のスライドショーと、恩師からのメッセージを上映した。映像が切り替わるたびに新成人から歓声が上がった。

今回、ホール右側の壁面に簡易スクリーンを設置し、昨年よりも見やすくなった。

その後、中学校時代の恩師がサプライズ登場し、思い出の曲である「名づけられた葉」と「ケ・サラ」を全員で合唱した。会場は中学校時代に戻ったような温かい雰囲気に包まれた。

今回は、昨年以上に見学する保護者が多く、家族席95席のほとんどが埋まり、大勢での祝福ができた。

多くの保護者、地域の方々、そして恩師の先生方に見守られながら、厳かな式典と若者らしい希望溢れる記念行事ができた。